

参加要件を満たしていることが確認された資格・検定試験の概要

試験名		ケンブリッジ英語検定(C2 Proficiency・C1 Advanced・B2 First・B2 First for Schools・B1 Preliminary・B1 Preliminary for Schools・A2 Key・A2 Key for Schools)				
実施主体名		Cambridge Assessment English (ケンブリッジ大学英語検定機構)				
Webサイト		http://www.cambridgeenglish.org/jp/				
2020年度4～12月 月別実施予定回数(回)	月	4～6	7～9	10～12	計	
	回数	Pro	1		1	2
		Ad		1	1	2
		First		1	1	2
		First for S	1		1	2
		Pre	1	1	2	4
		Pre for S	1	2	1	4
		Key	1	1	1	3
Key for S	1	1	1	3		
2020年度実施地区		北海道、東北、関東、北陸、中部、関西、中国、四国、九州、沖縄				
検定料(税込)	Pro	25,380円				
	Ad	22,140円				
	First/First for S	19,980円				
	Pre/Pre for S	11,880円				
	Key/Key for S	9,720円				
経済的に困難な受験生への配慮		一定の条件のもとに検定料の低減を検討中。				
試験構成	Pro	R	配点(点) 230	時間(分) 90	実施方法 PBT/CBT	解答形式 選択&記述
		L	230	約40	PBT/CBT	選択&記述
		W	230	90	PBT/CBT	記述
		S	230	約16	対面	面接
	Ad	R	210	90	PBT/CBT	選択&記述
		L	210	約40	PBT/CBT	選択&記述
		W	210	90	PBT/CBT	記述
		S	210	約15	対面	面接
	First/ First for S	R	190	75	PBT/CBT	選択&記述
		L	190	約40	PBT/CBT	選択&記述
		W	190	80	PBT/CBT	記述
		S	190	約14	対面	面接
	Pre/ Pre for S	R	170	90(R&W)	PBT/CBT	選択&記述
		L	170	約30	PBT/CBT	選択&記述
		W	170	90(R&W)	PBT/CBT	記述
		S	170	約10～12	対面	面接
	Key/ Key for S	R	150	70(R&W)	PBT/CBT	選択&記述
		L	150	約30	PBT/CBT	選択&記述
		W	150	70(R&W)	PBT/CBT	記述
		S	150	約8～10	対面	面接
CEFRの測定領域	Pro	C1～C2				
	Ad	B2～C2				
	First/First for S	B1～C1				
	Pre/Pre for S	A2～B2				
	Key/Key for S	A1～B1				
障害等のある受験生への合理的配慮		今後構築予定の、本システムに参加予定の資格・検定試験の一覧サイトにおいて、視覚・聴覚・肢体不自由・病弱・発達障害・その他の配慮事項について、「聞く」「読む」「話す」「書く」の試験それぞれで配慮する事項等を公表する。				
備考						

注1) 本概要は平成30年3月20日時点のものであり、今後変更があり得る。

注2) 特に月別実施予定回数及び実施地区については、今後、文部科学省において実施予定の各高等学校等を対象とした意向調査の結果等も参考としつつ、更に検討される予定。

注3) 2020年度実施地区については、必ずしも全ての地区の会場で全ての回の試験が実施される訳ではない。

注4) 本概要では、C2 ProficiencyをPro、C1 AdvancedをAd、B2 FirstをFirst、B2 First for SchoolsをFirst for S、B1 PreliminaryをPre、B1 Preliminary for SchoolsをB1Pre for S、A2 KeyをKey、A2 Key for SchoolsをKey for Sと記載している場合がある。

平成30年3月26日現在

参加要件を満たしていることが確認された資格・検定試験の概要

試験名		TOEFL iBTテスト			
実施主体名		Educational Testing Service			
Webサイト		https://www.ets.org/toefl			
2020年度4～12月 月別実施予定回数 (回)※	月	4～6	7～9	10～12	計
	回数	8	11	9	28
2020年度実施地区		北海道、東北、関東、北陸、中部、関西、中国、四国、九州、沖縄			
検定料(税込)		235米ドル			
経済的に困難な受検生への配慮		一定の条件のもとに検定料の低減を検討中。			
試験構成		配点(点)	時間(分)	実施方法	解答形式
	R	30	60～80	CBT	選択
	L	30	60～90	CBT	選択
	W	30	50	CBT	記述
	S	30	20	CBT	録音
CEFRの測定領域		B1～C1			
障害等のある受検生への合理的配慮		今後構築予定の、本システムに参加予定の資格・検定試験の一覧サイトにおいて、視覚・聴覚・肢体不自由・病弱・発達障害・その他の配慮事項について、「聞く」「読む」「話す」「書く」の試験それぞれで配慮する事項等を公表する。			
備考		※ 過去実績を基に掲載しているため、変更の可能性はある。			

注1) 本概要は平成30年3月20日時点のものであり、今後変更があり得る。

注2) 特に月別実施予定回数及び実施地区については、今後、文部科学省において実施予定の各高等学校等を対象とした意向調査の結果等も参考としつつ、更に検討される予定。

注3) 2020年度実施地区については、必ずしも全ての地区の会場で全ての回の試験が実施される訳ではない。

平成30年3月26日現在

参加要件を満たしていることが確認された資格・検定試験の概要

試験名		International English Language Testing System(IELTS)			
実施主体名		IDP:IELTS Australia			
Webサイト		http://www.jsaf-ieltsjapan.com/			
2020年度4～12月 月別実施予定回数 (回)	月	4～6	7～9	10～12	計
	回数	9	9	4	22
2020年度実施地区		北海道、東北、関東、北陸、中部、関西、中国、四国、九州、沖縄			
検定料(税込)		25,380円			
経済的に困難な受検生への配慮		一定の条件のもとに検定料の低減を検討中。			
試験構成		配点(点)	時間(分)	実施方法	解答形式
	R	9	60	PBT	記述
	L	9	約40	PBT	記述
	W	9	60	PBT	記述
	S	9	11～14	対面	面接
CEFRの測定領域		B1～C2			
障害等のある受検生への合理的配慮		今後構築予定の、本システムに参加予定の資格・検定試験の一覧サイトにおいて、視覚・聴覚・肢体不自由・病弱・発達障害・その他の配慮事項について、「聞く」「読む」「話す」「書く」の試験それぞれで配慮する事項等を公表する。			
備考					

注1) 本概要は平成30年3月20日時点のものであり、今後変更があり得る。

注2) 特に月別実施予定回数及び実施地区については、今後、文部科学省において実施予定の各高等学校等を対象とした意向調査の結果等も参考としつつ、更に検討される予定。

注3) 2020年度実施地区については、必ずしも全ての地区の会場で全ての回の試験が実施される訳ではない。

平成30年3月26日現在

参加要件を満たしていることが確認された資格・検定試験の概要

試験名		TOEIC [®] Listening & Reading TestおよびTOEIC [®] Speaking & Writing Tests			
実施主体名		一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会			
Webサイト		http://www.iibc-global.org/toeic.html			
2020年度4～12月 月別実施予定回数 (回)	月	4～6	7～9	10～12	計
	回数(L&R)	3	2	3	8
	回数(S&W)	6	6	6	18
2020年度実施地区		L&R: 全都道府県 S&W: 北海道、東北、関東、北陸、中部、関西、中国、四国、九州、沖縄			
検定料(税込)		L&R: 5,725円 S&W: 10,260円			
経済的に困難な受検生への配慮		一定の条件のもとに検定料の低減を検討中。			
試験構成		配点(点)	時間(分)	実施方法	解答形式
	R	495	75	PBT	選択
	L	495	約45	PBT	選択
	W	500 [※] (200 x 2.5)	約60	CBT	記述
	S	500 [※] (200 x 2.5)	約20	CBT	録音
CEFRの測定領域		A1～C1			
障害等のある受検生への合理的配慮		今後構築予定の、本システムに参加予定の資格・検定試験の一覧サイトにおいて、視覚・聴覚・肢体不自由・病弱・発達障害・その他の配慮事項について、「聞く」「読む」「話す」「書く」の試験それぞれで配慮する事項等を公表する。			
備考		※ S&WのスコアレンジはSpeaking、Writingそれぞれ0-200であるが、4技能トータルでの評価を行う際はスコアを2.5倍して配点を各0-500とした上でL&Rのスコアと合算を行う。			

注1) 本概要は平成30年3月20日時点のものであり、今後変更があり得る。

注2) 特に月別実施予定回数及び実施地区については、今後、文部科学省において実施予定の各高等学校等を対象とした意向調査の結果等も参考としつつ、更に検討される予定。

注3) 2020年度実施地区については、必ずしも全ての地区の会場で全ての回の試験が実施される訳ではない。

注4) 本概要では、Listening & Reading TestをL&R、Speaking & Writing TestsをS&Wと記載している場合がある。

平成30年3月26日現在

参加要件を満たしていることが確認された資格・検定試験の概要

試験名		GTEC(Advanced・Basic・Core・CBT)				
実施主体名		株式会社ベネッセコーポレーション				
Webサイト	Ad、Ba、Co	https://www.benesse-gtec.com/fs/				
	CBT	https://www.benesse-gtec.com/cbt/				
2020年度4～12月 月別実施予定回数 (回)	月	4～6	7～9	10～12	計	
	回数	Ad	1	1	2	4
		Ba	1	1	2	4
		Co	1		2	3
CBT			1	1	2	
2020年度実施地区		47都道府県(全種類共通)				
検定料(税込)	Ad	6,700円程度*				
	Ba	6,700円程度*				
	Co	6,700円程度*				
	CBT	9,720円				
		※但し、文部科学省の動向調査を踏まえ、会場や受検者の想定数を考慮し、検定料については、今後、若干の変動があり得る。				
経済的に困難な受検生への配慮		一定の条件のもとに検定料の低減を検討中。				
試験構成	Ad	R	320	約45	PBT	選択
		L	320	約25	PBT	選択
		W	320	約20	PBT	記述
		S	320	約25	CBT	録音
	Ba	R	270	約45	PBT	選択
		L	270	約25	PBT	選択
		W	270	約20	PBT	記述
		S	270	約25	CBT	録音
	Co	R	210	約32	PBT	選択
		L	210	約18	PBT	選択
		W	210	約20	PBT	記述
		S	210	約25	CBT	録音
	CBT	R	350	約55	CBT	選択
		L	350	約35	CBT	選択
		W	350	約65	CBT	記述
		S	350	約20	CBT	録音
CEFRの測定領域	Ad	A1～B2				
	Ba	A1～B1				
	Co	A1～A2				
	CBT	A1～C1				
障害等のある受検生への合理的配慮		今後構築予定の、本システムに参加予定の資格・検定試験の一覧サイトにおいて、視覚・聴覚・肢体不自由・病弱・発達障害・その他の配慮事項について、「聞く」「読む」「話す」「書く」の試験それぞれで配慮する事項等を公表する。				
備考						

注1) 本概要は平成30年3月20日時点のものであり、今後変更があり得る。

注2) 特に月別実施予定回数及び実施地区については、今後、文部科学省において実施予定の各高等学校等を対象とした意向調査の結果等も参考としつつ、更に検討される予定。

注3) 2020年度実施地区については、必ずしも全ての地区の会場で全ての回の試験が実施される訳ではない。

注4) 本概要では、AdvancedをAd、BasicをBa、CoreをCoと記載している場合がある。

平成30年3月26日現在

参加要件を満たしていることが確認された資格・検定試験の概要

試験名		Test of English for Academic Purposes(TEAP)				
実施主体名		公益財団法人 日本英語検定協会				
Webサイト		http://www.eiken.or.jp/teap/				
2020年度4～12月 月別実施予定回数 (回)※	月	4～6	7～9	10～12	計	
	回数		2	1	3	
2020年度実施地区		全都道府県				
検定料(税込)		15,000円				
経済的に困難な受検生への配慮		一定の条件のもとに検定料の低減を検討中。				
試験構成		配点(点)	時間(分)	実施方法	解答形式	
		R	100	70	PBT	選択
		L	100	約50	PBT	選択
		W	100	70	PBT	記述
		S	100	約10	対面	面接
CEFRの測定領域		A2～C1				
障害等のある受検生への合理的配慮		今後構築予定の、本システムに参加予定の資格・検定試験の一覧サイトにおいて、視覚・聴覚・肢体不自由・病弱・発達障害・その他の配慮事項について、「聞く」「読む」「話す」「書く」の試験それぞれで配慮する事項等を公表する。				
備考						

注1) 本概要は平成30年3月20日時点のものであり、今後変更があり得る。

注2) 特に月別実施予定回数及び実施地区については、今後、文部科学省において実施予定の各高等学校等を対象とした意向調査の結果等も参考としつつ、更に検討される予定。

注3) 2020年度実施地区については、必ずしも全ての地区の会場で全ての回の試験が実施される訳ではない。

平成30年3月26日現在

参加要件を満たしていることが確認された資格・検定試験の概要

試験名		Test of English for Academic Purposes Computer Based Test(TEAP CBT)				
実施主体名		公益財団法人 日本英語検定協会				
Webサイト		http://www.eiken.or.jp/teap/				
2020年度4～12月 月別実施予定回数 (回)	月	4～6	7～9	10～12	計	
	回数	1	1	1	3	
2020年度実施地区		北海道、東北、関東、中部、関西、九州				
検定料(税込)		15,000円				
経済的に困難な受検生への配慮		一定の条件のもとに検定料の低減を検討中。				
試験構成		配点(点)	時間(分)	実施方法	解答形式	
		R	200	約80	CBT	選択
		L	200	約40	CBT	選択
		W	200	約50	CBT	記述
		S	200	約30	CBT	録音
CEFRの測定領域		A2～C1				
障害等のある受検生への合理的配慮		今後構築予定の、本システムに参加予定の資格・検定試験の一覧サイトにおいて、視覚・聴覚・肢体不自由・病弱・発達障害・その他の配慮事項について、「聞く」「読む」「話す」「書く」の試験それぞれで配慮する事項等を公表する。				
備考						

注1) 本概要は平成30年3月20日時点のものであり、今後変更があり得る。

注2) 特に月別実施予定回数及び実施地区については、今後、文部科学省において実施予定の各高等学校等を対象とした意向調査の結果等も参考としつつ、更に検討される予定。

注3) 2020年度実施地区については、必ずしも全ての地区の会場で全ての回の試験が実施される訳ではない。

平成30年3月26日現在

参加要件を満たしていることが確認された資格・検定試験の概要

試験名		実用英語技能検定(英検) (1級・準1級・2級・準2級・3級 ※以下の①～③の各方式によって異なる)													
実施主体名		公益財団法人日本英語検定協会													
Webサイト		http://www.eiken.or.jp/eiken/													
2020年度4～12月 月別実施予定回数 (回)	回数	①1日完結型(仮称)				②公開会場実施(仮称)				③4技能CBT(仮称)					
		月	4～6	7～9	10～12	計	4～6	7～9	10～12	計	4～6	7～9	10～12	計	
		1級													
		準1級													
		2級	各級 1	各級 1	各級 2	各級 1		各級 1	各級 2	各級 3	各級 3	各級 3	各級 9		
		準2級													
		3級													
2020年度実施地区		47都道府県													
検定料(税込)		1級						16,500円*							
		準1級						9,800円*							
		2級						7,500円*							
		準2級						6,900円*							
		3級						5,800円*							
		※今後、若干の変動があり得る。													
経済的に困難な受験生への配慮		一定の条件のもとに検定料の低減を検討中。													
試験構成		1級	R					850	100(R&W)		選択				
			L					850	約35	PBT	選択				
			W					850	100(R&W)		記述				
			S					850	約10	対面	面接				
		準1級	R	750	90(R&W)		選択	750	90(R&W)		選択				
			L	750	約30	PBT	選択	750	約30	PBT	選択				
			W	750	90(R&W)		記述	750	90(R&W)		記述				
			S	750	約8	CBT	録音	750	約8	対面	面接				
		2級	R	650	85(R&W)		選択	650	85(R&W)		選択	650	85(R&W)		選択
			L	650	約25	PBT	選択	650	約25	PBT	選択	650	約25	CBT	選択
			W	650	85(R&W)		記述	650	85(R&W)		記述	650	85(R&W)		記述
			S	650	約7	CBT	録音	650	約7	対面	面接	650	約7		録音
		準2級	R	600	75(R&W)		選択	600	75(R&W)		選択	600	75(R&W)		選択
			L	600	約25	PBT	選択	600	約25	PBT	選択	600	約25	CBT	選択
			W	600	75(R&W)		記述	600	75(R&W)		記述	600	75(R&W)		記述
			S	600	約6	CBT	録音	600	約6	対面	面接	600	約6		録音
		3級	R	550	50(R&W)		選択	550	50(R&W)		選択	550	50(R&W)		選択
			L	550	約25	PBT	選択	550	約25	PBT	選択	550	約25	CBT	選択
			W	550	50(R&W)		記述	550	50(R&W)		記述	550	50(R&W)		記述
			S	550	約5	CBT	録音	550	約5	対面	面接	550	約5		録音
CEFRの測定領域		1級						B2～C1							
		準1級						B1～B2							
		2級						A2～B1							
		準2級						A1～A2							
		3級						A1							
障害等のある受験生への合理的配慮		今後構築予定の、本システムに参加予定の資格・検定試験の一覧サイトにおいて、視覚・聴覚・肢体不自由・病弱・発達障害・その他の配慮事項について、「聞く」「読む」「話す」「書く」の試験それぞれで配慮する事項等を公表する。													
備考		・3方式(「1日完結型(仮称)」・「公開会場実施(仮称)」・「4技能CBT(仮称)」)の詳細については、参考資料を参照。													

注1) 本概要は平成30年3月20日時点のものであり、今後変更があり得る。

注2) 特に月別実施予定回数及び実施地区については、今後、文部科学省において実施予定の各高等学校等を対象とした意向調査の結果等も参考としつつ、更に検討される予定。

注3) 2020年度実施地区については、必ずしも全ての地区の会場で全ての回の試験が実施される訳ではない。

参考資料

項目	①1日完結型(仮称) (2019年度～)	②公開会場実施(仮称) (2019年度～)	③4技能CBT(仮称) (2018年度8月～)
対象受検者	高校3年生※	高校3年生※	制限なし
RLW実施方式	PBT	PBT	CBT
S実施方式	録音式	対面式	録音式
S受検可否	申込者全員(一次合否を問わず可能)		
受検日数	1日	2日	1日
対象級	準1級～3級の4グレード	1級～3級の5グレード	2級～3級の3グレード

※高校3年生:大学入学者選抜を受験する浪人生なども含みます。

平成30年3月26日現在

参加要件を満たしていることが確認された資格・検定試験の概要

試験名		International English Language Testing System(IELTS)				
実施主体名		ブリティッシュ・カウンシル				
Webサイト		http://www.eiken.or.jp/ielts/				
2020年度4～12月 月別実施予定回数 (回)	月	4～6	7～9	10～12	計	
	回数	9	9	6	24	
2020年度実施地区		北海道、東北、関東、北陸、中部、関西、中国、四国、九州				
検定料(税込)		25,380円				
経済的に困難な受検生への配慮		一定の条件のもとに検定料の低減を検討中。				
試験構成		配点(点)	時間(分)	実施方法	解答形式	
		R	9	60	PBT	記述
		L	9	約40	PBT	記述
		W	9	60	PBT	記述
		S	9	11～14	対面	面接
CEFRの測定領域		B1～C2				
障害等のある受検生への合理的配慮		今後構築予定の、本システムに参加予定の資格・検定試験の一覧サイトにおいて、視覚・聴覚・肢体不自由・病弱・発達障害・その他の配慮事項について、「聞く」「読む」「話す」「書く」の試験それぞれで配慮する事項等を公表する。				
備考						

注1) 本概要は平成30年3月20日時点のものであり、今後変更があり得る。

注2) 特に月別実施予定回数及び実施地区については、今後、文部科学省において実施予定の各高等学校等を対象とした意向調査の結果等も参考としつつ、更に検討される予定。

注3) 2020年度実施地区については、必ずしも全ての地区の会場で全ての回の試験が実施される訳ではない。